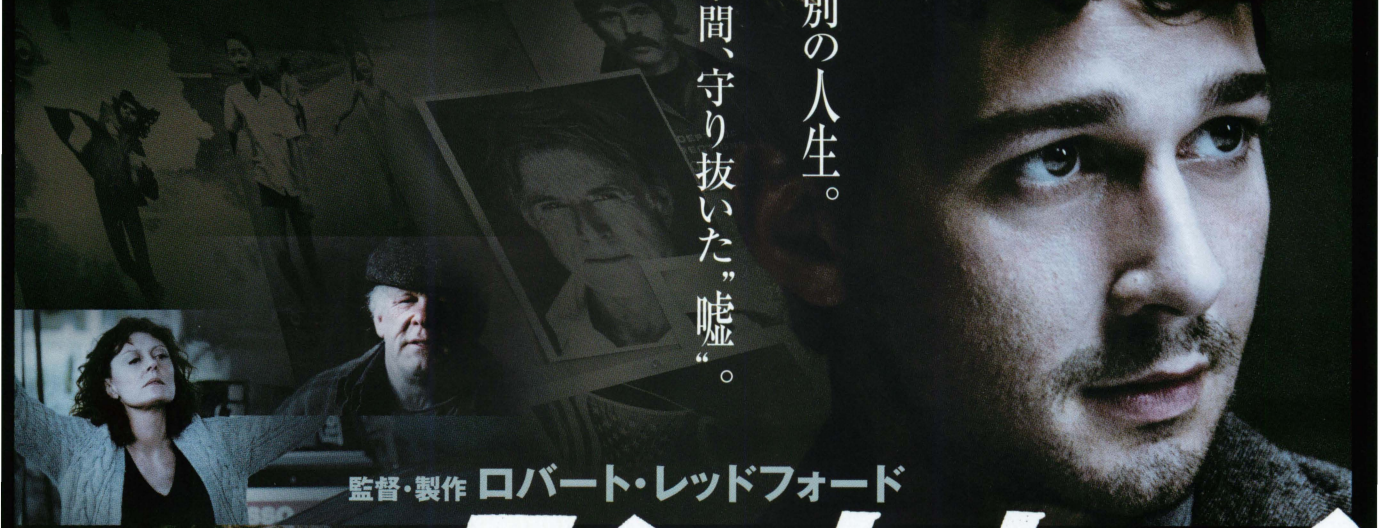




偽りの名前。

手に入れた別の人生。

30年間、守り抜いた”嘘”。



監督・製作 ロバート・レッドフォード

ランナウェイ

逃亡者

ロバート・レッドフォード シアア・ラブーフ ジェリー・クリスティ with ニック・ノルティ クリス・ケーバー スーザン・サランドン

©2012 TOYK,LLC.ALL RIGHTS RESERVED. www.runnaway.jp



《ウェザーマン》
1970年代に全米を震撼させた、実在の過激派グループ。
アカデミー賞監督ロバート・レッドフォードが暴く社会派サスペンス!

静かな緊迫感が
劇的に高まる
クライマックスまで

ひとときも目が離せない!

アカデミー賞監督ロバート・レッドフォードが、
社会の矛盾と人生の皮肉をあぶり出す。

1960年代以降のハリウッドを代表する二枚目スターとして世界中を魅了し、
監督&プロデューサーとしても『普通の人々』『リバー・ランズ・スルー・イット』といった
名作を世に送り出してきたロバート・レッドフォード。
『大いなる陰謀』以来5年ぶりに監督、主演を兼任して挑んだ入魂作、
それが『ランナウェイ/逃亡者』である。

レッドフォード作品史上最も豪華なオスカー常連ベテラン俳優

×
レッドフォードを唸らせた新進気鋭の若手俳優

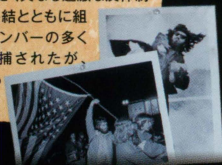
スーザン・サランドン、ジュリー・クリスティをはじめとしたオスカー常連俳優たちが
重厚感たっぷりに演じた、“真実”の鍵を握る元過激派メンバー。
そして、『トランスフォーマー』シリーズのシャイア・ラブーフが
使命感よりも名声に憧れる若手記者を熱演。

新旧実力派キャストのアンサンブルにより、この物語が“今”語られるべき必然性が浮き彫りとなる。

世界を欺き、 男は逃亡する

実在の過激派組織“ウェザーマン”

1960年代後半より活動。ベトナム戦争への
反対を主張し、政府機関への爆破テロを繰り返すなど、
ラブ&ピースを唱える理想主義的なグループとはまったく異なる過激な反体制
活動を展開。戦争終結とともに組織は消滅し、
主要メンバーの多くは自首もしくは逮捕されたが、
一部、行方が分からなくなった者もいた。



1969年、ベトナム戦争反対を訴え連続爆破事件をおこした過激派グループ“ウェザーマン”。
全米を震撼させ、FBIの最重要指名手配リストに載った彼らはその後、忽然と姿を消した一。
30年後、元メンバーの1人が突如逮捕される。新聞記者のベン(シャイア・ラブーフ)は、
再び注目されたその事件を追ううちにある人物にたどり着く。
それは、愛娘を男手1人で育てながら穏やかに生活するアメリカの模範的な市民、
弁護士のジム(ロバート・レッドフォード)だった。危険を察知し再び逃亡するジム。
ベンとFBI双方からの執拗な追跡。見えてくる事件の輪郭。
30年間の逃亡の裏に隠された驚愕の真実が今、暴かれる!!

監督・製作:ロバート・レッドフォード(『普通の人々』、『大いなる陰謀』)
製作:ニコラス・シャルティエ(『ハート・ロッカー』) 音楽:クリフ・マルティネス(『ドライブ』)
原作:ニール・コードン著(『ランナウェイ』) 逃亡者/ハヤカワ文庫刊 9月発売予定)
出演:ロバート・レッドフォード シャイア・ラブーフ(『トランスフォーマー』シリーズ) ジュリー・クリスティ(『アウェイ・ブロム、ハー 君を想う』)
スーザン・サランドン(『クラウチング・アクトレス』) ニック・クルティ(『L.A.キックアウトストーリー』) クリス・ターバー(『ロバート・バーンズ』)
テレンス・ハワード(『アイアンマン』) リチャード・ジレンテンズ(『首をたたく人』) スタンリー・トゥッチ(『プラダを着た悪魔』)
アナ・カンドリック(『マイレージ』) マイケル・ファシオ(『キング・オブ・マンハッタン』) 船渡なな(『ジャッキー・エヴァンゴ(『アメリカス・ゴット・タレント』)

ランナウェイ

逃亡者

10月5日[土]
全国ロードショー